

【評価実施概要】

事業所番号	第0171200140		
法人名	株式会社エム・エムトレーディング		
事業所名	グループホームすまいる		
所在地	恵庭市和光町4丁目8番20号 (電話) 0123-39-3001		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成21年3月19日	評価確定日	平成21年3月31日

【情報提供票より】H20年12月1日

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 5 月 10 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 15 人・非常勤 5 人・常勤換算4	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての1階～ 2階		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		900 円

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護 1	6	要介護 2	5
要介護 3	4	要介護 4	1
要介護 5	1	要支援 2	1
年齢	平均 84 歳	最低 67 歳	最高 100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	恵庭南病院・島松病院・三木歯科医院・老健施設アトライフ恵庭
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅街に建てられ、敷地内には手作り菜園や花畑がある。1階はうれし館・2階はたのし館で、同法人による居宅介護事業所すまいる・デイサービスすまいるの家・食事付共同住宅すまいるの家が併設されて連帯、協力体制が整えられている。管理者はじめ職員は「安全・楽しく・穏やかに」の基本理念のもとに、安心と尊厳のある生活を営むことができるように、質の高いサービスが提供されている。利用者は笑顔で穏やかに暮らしており、家族の訪問も多く、地域に密着した安心して暮らせるホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回課題であった地域とのつきあいでは、法人内の事業所と連携をとりながら、町内行事、夏祭りに参加、また認知症の勉強会を開くなどして地域住民との交流を深めている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員は自己評価、外部評価の意義を十分に理解しており、前回の外部評価の結果を踏まえて改善に取り組んでいる。今回の自己評価も職員全員で取組んで、サービスの質の向上に努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は職員、家族、地域代表、市職員、包括支援センター職員参加の下、定期的開催され、ホーム運営、行事報告、利用者の状況、運営上の課題や地域の交流などの意見交換がされ、サービスの質の向上に繋がるように取り組んでいる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ホーム内に苦情相談機構の公的窓口を紹介するポスターが掲示され、家族来訪時に意見、要望、苦情など聴くようにしている。意見箱も設置され、これらの意見、要望は職員会議、運営推進会議で話し合い、運営に反映されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入して、老人クラブにも数名が参加している。町内会役員、民生委員との連絡や情報交換は密におこなわれており、隣接の居宅介護支援事業所と共同で地域住民への働きかけがおこなわれている。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	一人ひとりの生活を大切に、落ち着いた生活ができるようにと家族、地域社会とのかかわりを大切にしたい理念を作り、実践に向けて取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に基づいたホーム運営を行っており、日々業務の中で、特にカンファレンスの時など、職員全員で理念を確認しながら共有できるように取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に会員として加入しており、老人クラブにも数名参加するなど、町内行事には積極的に参加して、地域住民との交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価・外部評価の意義を理解し、その結果についても改善計画表を作るなど、業務等に反映され、サービスの質の向上に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1度開催され、ホームの運営状況について報告し、地域の意見・要望も受けてホームの運営に活かされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>ホーム運営は行政担当者のアドバイスを受けながら、適性かつ向上に取り組み、また地区のグループホームネットワークに加入し情報を得て、サービスの質の向上に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪時や、グループホーム便り「すまいる」で、日常生活や健康状態など詳しく伝えている。また金銭関係については、毎月領収書の控えを添え報告し、内容を確認して貰っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族が来訪時に意見・要望・苦情など気軽に話せる雰囲気づくりに努めている。意見箱も設置され、これらの意見・要望は職員会議、運営推進会議で話し合い、運営に反映できるようになっている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者、家族との信頼関係を築くため、職員配置は出来るだけ固定している。やむを得ない異動の場合には、利用者への紹介や家族への周知等の配慮に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は職員が研修に参加する機会を設け、研修によっては出勤扱い、費用負担など職員育成と質の確保に積極的に取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>北海道グループホーム協議会、恵庭市グループネットワークの会に加入して、合同研修会を開催するなど、お互いに交流を深めサービスの質の向上に努めている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>職員が事前に得ている情報を基に、1日も早く馴染めるような対応に努めている。また利用者、家族が安心し、納得できるサービス開始への準備と調整を行っている。</p>		
サービス					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員はやさしく丁寧に、一人ひとりの個性を大切に、喜び・悲しみを共有し信頼関係を築けるように留意しながら実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1.一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの暮らし方の意向を十分に把握し、得意な事・出来ること・出来ないことを見極め、本人の希望に沿った支援ができるように努めている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の意見、要望等を取り入れ、職員、ケアマネージャーと協議を重ね心身の状況と生活能力を考慮した介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は期間および状態の変化に応じて随時見直し、カンファレンスを通じ本人、家族の意見、要望を取り入れ現状に即した介護計画を作成している。</p>		
<p>3.多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人、家族の状況に応じて買い物、通院などの送迎支援をしている。法人内の行事にも参加するなど、他の事業所と連携を取りながら柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々の記録をまとめ本人、家族の希望するかかりつけ医療機関の受診支援を行い、緊急時でも即時対応できるように協力病院との連携体制が作られている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	将来の重度化や終末期に向けて本人、家族の意見を尊重した話し合いや、協力病院と連携をとりながら、ホームとしての方針を職員全員で共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの性格を把握し、プライドを傷つけないような、言葉かけや対応に注意した支援が行われている。個人情報に関する書類等も厳重に保管されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は一人ひとりの過ごし方を大切に、利用者本位のペースを保てるように支援をし、その人らしい暮らしができるように、希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	地元の食材を取り入れ、一人ひとりの好みに配慮した献立をたて、調理の下ごしらえや盛り付け、片付け等は職員と一緒にいき、同じテーブルに着き楽しい雰囲気です事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は一人ひとりの体調に配慮しながら、利用者の希望に沿って、いつでも入浴できるよう支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や身体状況を踏まえて、大正琴、花、野菜づくりなど、一人ひとりの思いに沿った生活支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気、体調、希望にあわせて日常の散歩、買い物、ドライブなど戸外に出る機会をつくり支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には音センサーを設置して、安全面に配慮した見守り、心配りをしてかぎをかけないケアを大切にいた支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	マニュアル、連絡網を作成し、非難訓練も消防所、地元住民の協力を得ながら実地し、災害時の非難場所も確保している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	一日の摂取カロリー、水分量を記録し、職員は一人ひとりの状況を把握し、個別の対応をした支援が行われている。利用者の状況に応じて医師の指導も得ている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	玄関には季節の花や利用者全員のスナップ写真が飾られ、家庭的雰囲気作りがされている。建物の採光・臭気・温度・換気には十分配慮され、心地よく過ごせるようになっている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には本人の好みに合わせ、家族の写真、手作りの品が飾られて、なじみの家具やベットが置かれ好みに合わせ、心地よく過ごせるよう配慮された環境整備がされている。		

 は、重点項目。